２０２７　年度　独立行政法人国立病院機構災害医療センター　（病床数　455床）【1年次】

受入人数	【1年次】１名

常勤・非常勤	基本手当		賞与		時間外	休日	勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
								有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤	￥315,784		無		有	有	日勤8:30～16:30 夜勤16:45～8:30	23日		5日	6日	４回程度	あり	厚生労働省第二共済組合（健康保険）、厚生年金保険、　雇用保険

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	内科7科（循・呼・消・腎・血・神経・膠原）各4週ローテ　指導医：14名(医師数：43名）
救急科	救命科8週ローテ　指導医：5名（医師数：14名）
外科	一般外科4週、脳神経外科4週、整形、形成、泌尿器、呼吸器外科のうち1科を選択して4週 指導医：17名（医師数：50）
小児科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する
産婦人科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する
精神科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する
一般外来	2年目に慶應義塾大学病院で研修する

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科
形成外科、整形外科、泌尿器、呼吸器外科

○研修アピール
災害医療センターは北多摩西部医療圏において高度急性期医療を提供している中核病院です。同時にがん診療連携拠点病院でもあります。そして災害時の広域災害医療の基幹病院という立場もあります。社会的ニーズを踏まえつつ、将来の専門性にかかわらず、いわゆるCommonDisease,救急患者対応、がん診療を経験できます。当センターは若手医師のいろいろな「やる気・夢」を発展させて、叶えられるポテンシャルを持った病院です。「やる気」あふれる研修医をお待ちしております。

○研修医からのメッセージ　1年間当院で研修し、自ら求めれば数多くの経験を積むことができる環境であると実感しています。入職後早期からCV挿入等の手技を数多く経験させていただき、秋頃には指導医のもとで慢性硬膜下血腫の執刀もさせていただきました。もちろん、その裏では日頃の勉強や練習が必要ですが、頼れる仲間や熱心な上級医の先生方がいてくださるため、大変なことも乗り越えることができています。
当院は多くの経験と成長の機会を得ることができる環境が整っていると思います。

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項
・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

研修実施責任者：大林正人　（教育部長）

※問い合わせ先
担当部署・担当者名：教育部・鈴木愛子

住所：　東京都立川市緑町3256

TEL：042-526-5511(3080)

E-mail：　suzuki.aiko.sb@mail.hosp.go.jp